

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	車両管理事業			会計	款	項目	大	小
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行財政運営（行政の充実）		主管課	財産活用課			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	石戸 敏久			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市有車両（貸与車両・上下水道局を除く）	意図	車両管理費用の軽減を図る。
事業内容	公用車両の燃料費、保険料及び共用車両の使用予約の管理と配車手続を行い、効率的な車両の稼働を推進する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成15年度から共用車両の集中管理を開始した。平成28年度に無駄な車両予約をしないように運用の適正化を図った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	車両台数	213	212	207	台	↓↓↓
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
無駄な車両予約をなくし、車両の有効活用ができるように努めた。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	27,748,737	29,133,302	36,057,868
事業費(b)(円)	27,748,737	29,133,302	29,345,868
うち一般財源	27,748,737	29,133,302	29,345,868
職員給与費(c)(円)			6,712,000
人役・職員(人)			1.00
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	リース期間の見直しなど、仕様等の変更について検討を行う。	③取組の課題	共用車の適正な予約と管理。また、老朽化した車両の更新が必要。
②今年度(H29)に実施した取組	リース期間を原則7年間としたほか、装備についても検討を行うなど仕様の見直しを行った。	④今後(H30以降)の改善計画	共用車の適正な予約と管理を行い、更なる効率的な車両の稼働に努める。老朽化した車両については、低公害車等に更新する。